



【プロフィール】
1973年 早稲田大学政治経済学部経済学科卒業後、三菱商事に入社。韓国、サウジアラビア、タイに駐在。2012年1月から国際教養大学東アジア調査研究センター特任教授。2015年4月、海城中学高等学校校長に就任。



1891年、千代田区麹町に海軍予備校として設立。1900年に海城学校と改称。1927年に現在地へ移転。1947年新制 海城中学校、1948年新制 海城高等学校が発足。2015年の東大合格者数は56名。

アクセス／JR山手線「新大久保駅」徒歩5分、地下鉄副都心線「西早稲田駅」徒歩8分、JR中央線・総武線「大久保駅」徒歩10分、JR山手線・地下鉄東西線「高田馬場駅」徒歩12分、地下鉄副都心線・大江戸線「東新宿駅」徒歩12分
所在地／東京都新宿区大久保3-6-1 TEL／03-3209-5880

これからは世界を舞台に活躍する機会がますます増えていくでしょう。そこでは英語力はもちろん、海城で過ごす6年間でたくさんの友人を作り、共に学び、身につけてほしいと思います。

海城の生徒は、皆明るく、「ユーモア」「余裕を持つ」と感じます。これはとても大切なことで、グローバル社会で活躍できる人材にはユーモアのセンスが必要不可欠です。なぜならユーモアは、文化も言葉も違う人間同士がスムーズにコミュニケーションするための潤滑油となるからです。

またホスピタリティ溢れているのも誇れる点です。文化祭でのお客様への対応はもちろん、普段から来校される方への挨拶が自然にできる。特に指導しているわけではなく、一定の規律ある学校生活を送ることができていること、「新しい紳士の育成」という当校の教育目標が生徒たちに浸透しているこの現れではないでしょうか。

またホスピタリティ溢れているのも誇れる点です。文化祭でのお客様への対応はもちろん、普段から来校される方への挨拶が自然にできる。特に指導しているわけではなく、一定の規律ある学校生活を送ることができていること、「新しい紳士の育成」という当校の教育目標が生徒たちに浸透しているこの現れではないでしょうか。

国際社会で光るユーモアのセンス

学びの極意

—第9回—

あの学校は、どのように多くの人財を育成しているのか?
その秘密に迫ります!

東京都 私立 海城中学高等学校

「体感して考える」「創作して学ぶ」 プログラム

当校の特長的な学びとして、「共生」「協働」をテーマに行う、「プロジェクト・アドベンチャー」とあります。中1・中2で実施する

「ドラマ・エデュケーション」の中で、協力して課題を克服しながら、人間関係を構築していく

ものです。例えば、立ったままで倒れる。仲間

の支えを信じられない子

にはできません。ほかに

も、身長の何倍もある垂

直の壁を登つたり、大き

なシーソーで地に足が着

かないようにバランスを

とつたり。自分一人では

できないことを、どうす

れば仲間と成し遂げら

れるか考え、意見を出し

合います。

「ドラマ・エデュケー

ション」は、中2・中3で

行います。与えられた

課題を克服しながら、人間関係を構築していく

ものです。そのためのサポートは、学校が全力で行います。

事実でもフィクションでも構いません。ただし観客に楽しんでもらうには工夫が必要です。中3では

一流の舞台演出家に3週にわたり計6時間

指導してもらいます。何

程度、生徒たちは表現す

ること、相手に自分の思

いを届けることの難しさ

を演じるのは恥ずかしい

かもしれません。当校の生徒たちは照れることなく取り組んでいます。

それは、「プロジェクト・アドベンチャー」を通じて、仲間と一緒に課題に取り組むことの大切さや、何事にも一生懸命に取り組むことで得られるものの大ささを理解しています。

アのセンスを身につけていくのかもしれません。

思春期の男子が芝居を演じるのは恥ずかしい

かもしれません。当校の生徒たちは照れることなく取り組んでいます。

それは、「プロジェクト・アドベンチャー」を通じて、仲間と一緒に課題に取り組むことの大切さや、何事にも一生懸命に取り組むことで得られるものの大ささを理解しています。